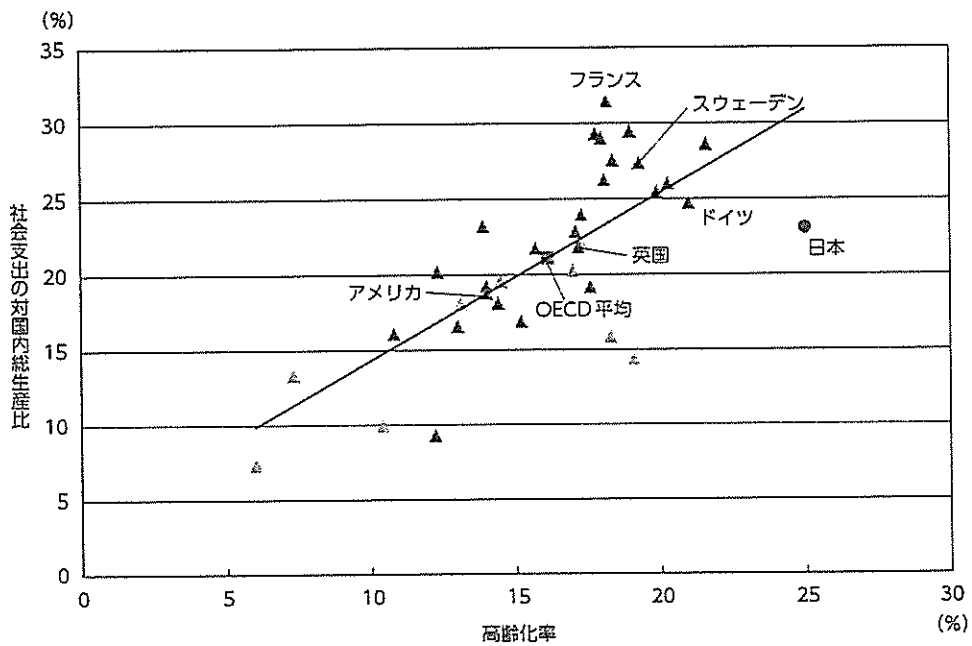


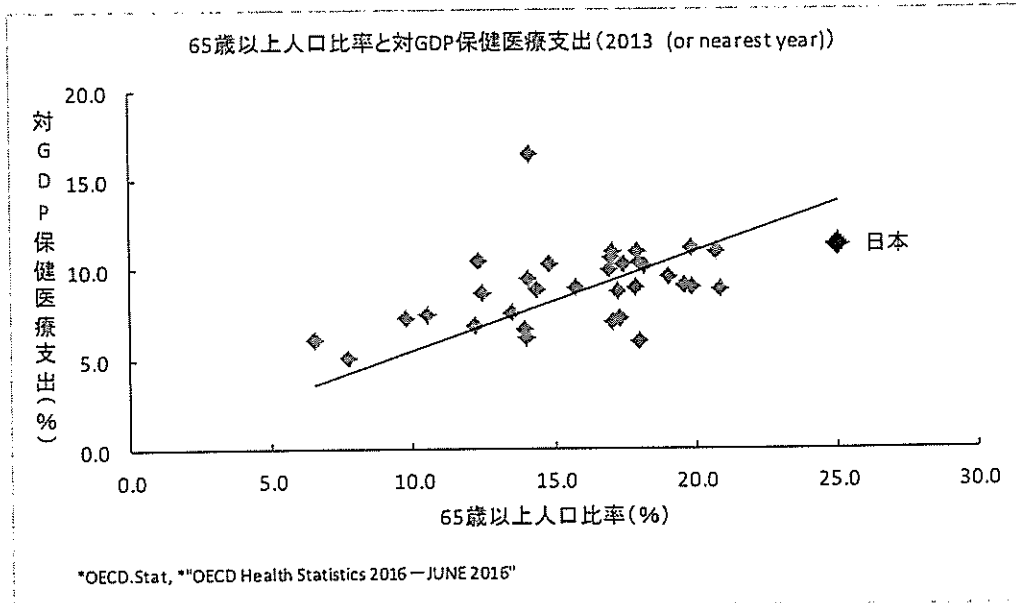
図 1 高齢化率と社会支出の国際比較 (2013年)



資料：OECD [Social Expenditure Database]、高齢化率については [World Development Indicators]。
 (注) 1. 高齢化率とは、全人口に占める65歳以上人口割合。
 2. メキシコについては、2011年の値を基に算出している。
 3. 赤いプロットの国は、国際通貨基金 (IMF) の定義に基づく経済先進国である。

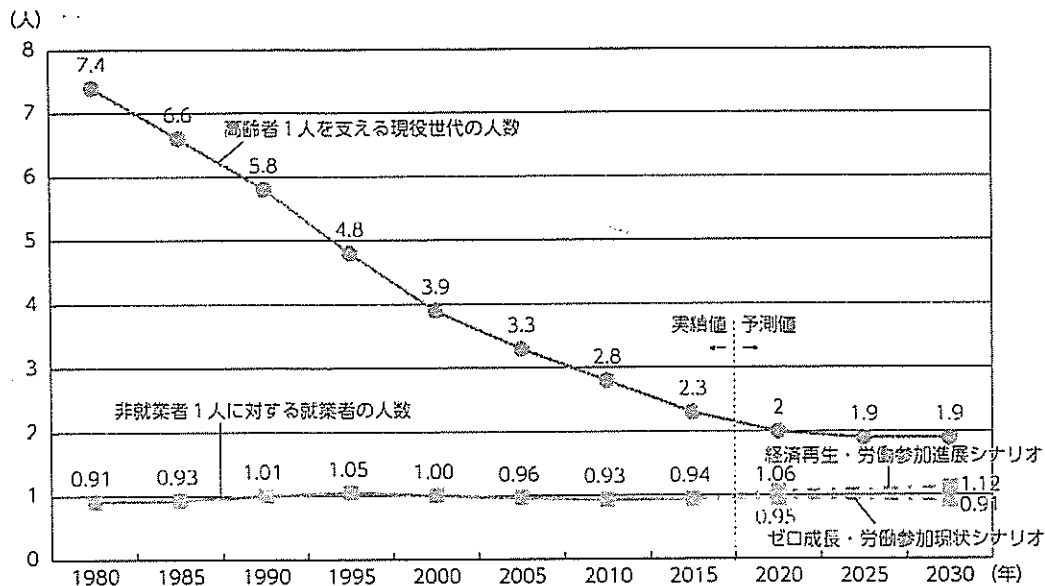
出所：『平成24年版厚生労働白書』16頁

図 2 65歳以上人口比率と対GDP保健医療支出



*OECD.Stat, **OECD Health Statistics 2016 - JUNE 2016*

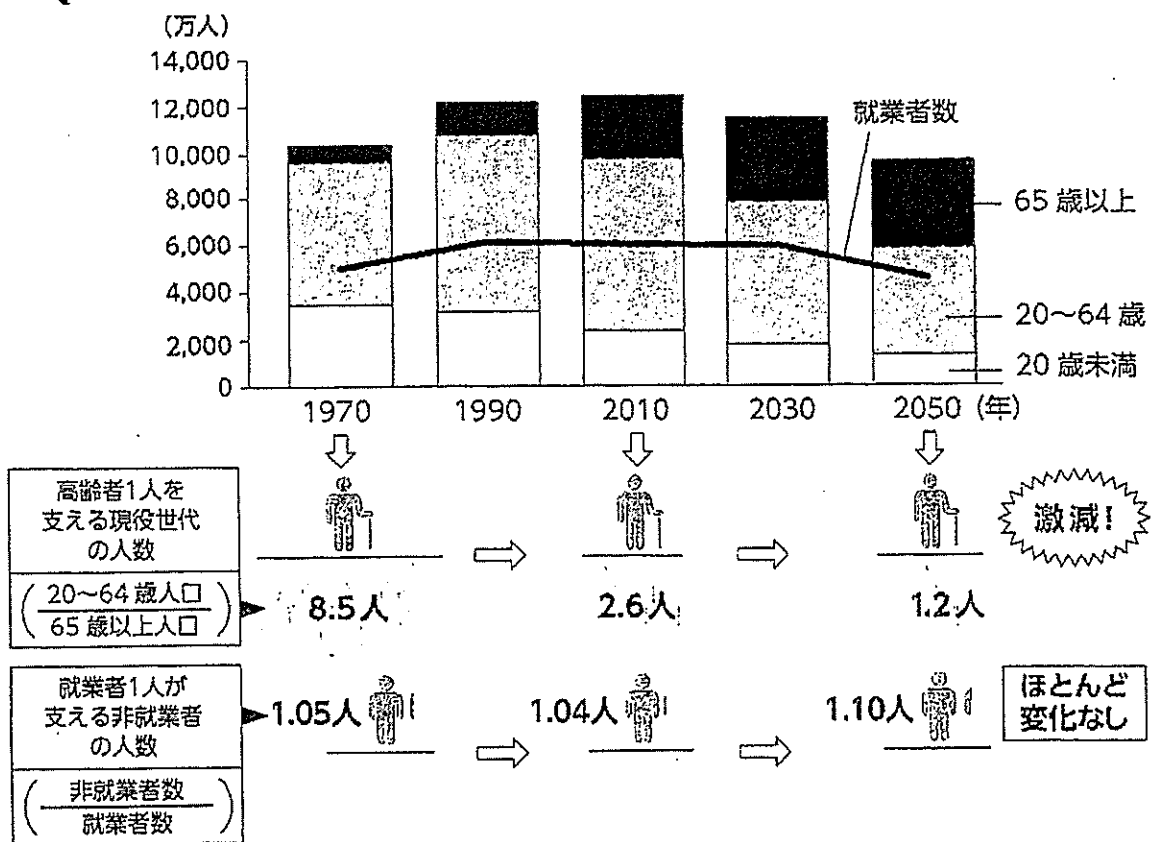
出所：前田由美子「医療関連データの国際比較」
 「日本医師会総合政策研究機構ワークショップ」
 No.370(2016年9月) 11頁



資料：総務省統計局「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年推計及び平成29年推計）出生中位・死亡中位推計」（各年10月1日現在人口）、労働政策研究・研修機構「平成27年 労働力需給の推計」
 (注) 1. 「高齢者1人を支える現役世代の人数」（15～64歳人口/65歳以上人口）は、2015年までは「国勢調査」、2020年以降は「将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位推計を用いて推計した。
 2. 「非就業者1人に対する就業者の人数」（就業者数/非就業者数）は、2015年までは「国勢調査」を用いて推計した。なお、15歳未満人口はすべて非就業者とし、15歳以上で労働力状態が不詳の者は、就業者及び非就業者のいずれからも除いて計算した。2020年以降は、「将来推計人口（平成24年推計）」の出生中位・死亡中位推計と「平成27年労働力需給の推計」における「ゼロ成長、労働市場への参加が進まないシナリオ」及び「経済成長、労働市場への参加が進むシナリオ」の就業者数を用いて推計した。

出所：平成29年版厚生労働白書 21頁

図4 人口構成の変化と就業者数の推移

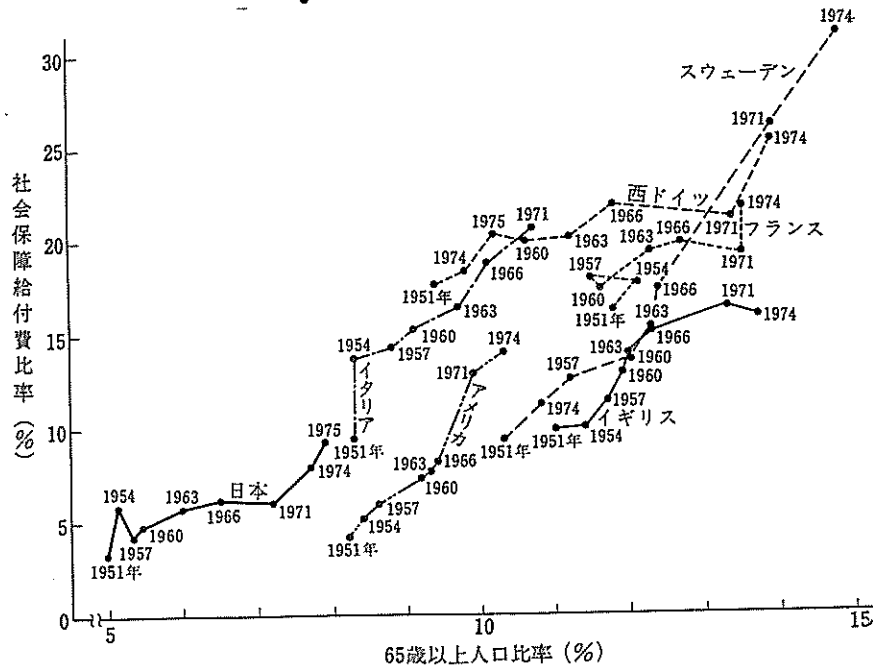


注：人口は国立社会保障・人口問題研究所資料より。2010年まで実績値、その後は推計値。就業者数・就業率は労働力調査（実績値）、2030年は労働政策研究・研修機構の推計値、2050年は2030年推計値を基に権丈教授試算。

出所：「少子高齢化への対策 就業者増やし支え手確保 女性・高齢者に働きやすい環境を」『読売新聞』2012年4月23日朝刊。
 (権丈啓一「医療介護の一体改革と財政」慶應義塾大学出版会、2015、328頁)

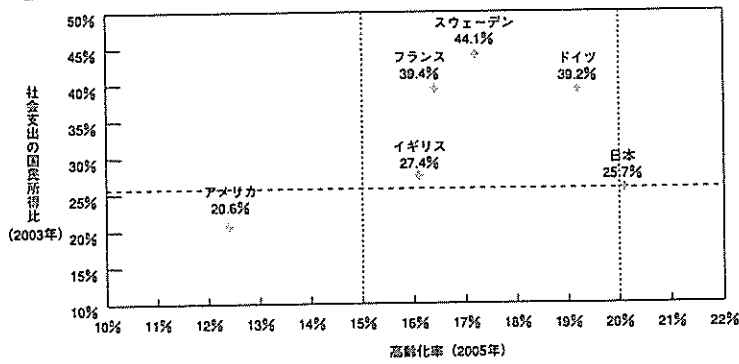
(156)

図1 65歳以上人口と社会保障給付費の推移



資料：国際連合「世界人口年鑑」の他第1-3表に同じ
 出所：『昭和52年版厚生白書』11頁

図2 社会保障の給付規模の国際的な比較



資料：社会支出は、OECD「Social Expenditure Database 2007」、高齢化率はOECD「OECD in figures 2007」による。
 (注) OECD社会支出基準に基づく社会支出データを用いているため、社会保障給付費よりも広い範囲の費用(公的住宅費用、給付調整費等)も計上されている。

出所：『平成20年版厚生労働白書』24頁